

平成 28 年度

学校関係者評価報告書

学校法人 MGL 学園

高崎動物専門学校

学校関係者評価委員会

平成 29 年 7 月 19 日

1. 学校の教育理念・目標

基本精神

「共存共栄」

Mission(使命)

「業界に必要とされる人材を輩出し、動物業界の発展・繁栄に寄与する」

行動指針

「M」 マナー…礼儀正しさ

「G」 ガッツ…勇気・信念

「L」 リーダーシップ…思いやり・模範を示す

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 個人情報保護に対する取り組みの強化
2. 情報セキュリティ管理の徹底
3. 特色ある授業の積極的な展開
4. 教員等採用・育成計画
5. オープンキャンパス等、生徒募集強化策の実施
6. 安全管理の強化
7. 無料職業紹介事業開始による就職支援の強化
8. 動物愛護フェスティバルへのボランティアスタッフ派遣
9. 節電目標への取り組み
10. 職業実践大学制度への対応

3. 評価項目の達成及び取組状況

【評価の判定】 適切 4 ほぼ適切 3 やや不適切 2 不適切 1

[1]教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
・教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(課題)

2018年問題は大学短大含め、どの専門学校も避けては通れない問題だ。学校が生き残るには、学校の教育理念や目標を周知し、特徴を理解してもらう必要がある。

(今後の改善方針)

MGLという行動指針が、学校法人名になっているので、広く周知しやすい。そこから基本精神やミッション等を知っていただき、ペット業界のニーズに応えるという学校の特徴が理解してもらえると良い。

(特記事項)

グルーミングの世界大会で優勝するという卒業生の活躍や、学生の資格取得状況・就職状況には目を見張るものがある。ほとんどの学生がペット業界に就職していくのは、ペット業界のニーズに応えた教育をしている証拠で、とても評価できる。

また、動物看護師の資格取得を代表に、資格取得の状況も非常に良い。

[2] 学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明文化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(課題)

資格取得の実績等がホームページで公開されており、非常にわかりやすい。特に課題はない。

(今後の改善方針)

資格試験の実績も、それ以外の教育実績も広くホームページ等で情報公開されていて非常に好ましい。

(特記事項)

全学生や全教職員にタブレット端末を配布し、連絡・相談体制を整えていることは、専門学校ではなかなかできることではなく、非常に素晴らしい。

[3] 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4

・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

(課題)

コースごとの評価アンケートを学生に対して実施しているが、授業ごとの評価も試みてはどうか。

(今後の改善方針)

学生の負担も考えて、協力してくれる学生を募り、授業ごとの評価も実施する。

(特記事項)

関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているかという項目が、企業と連携した実習・演習や教育課程編成委員会により、着実に改善されている。

[4]学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

(課題)

ペット業界は人手不足で、就職することには問題はなかったが、以前は待遇に問題があった。ペット業界就職説明会等、全国ペット協会との連携で、大手企業への就職が増え、待遇という課題が改善されつつある。

(今後の改善方針)

全国のペット関連企業約 3700 社が所属する全国ペット協会主催のペット業界就職説明会への参加はもちろん、地元のペット関連企業を対象にしたMGL学園主催の就職合同説明会を開催し、ペット関連企業のニーズに応えていただきたい。

(特記事項)

動物業界への就職が全体の就職者数の 90%以上を占めているということは、動物業界への就職が非常に強い学校だと評価できる。また、動物看護師統一資格の資格取得実績も非常に評価できる。

さらに、タブレット端末を学生全員に配布して学生が気軽に相談できる体制を展開されていることも素晴らしいことで、今後の成果に期待したい。

[5]学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に相談する経済的な支援体制は整備されているか	3

・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(課題)

経済的に就学が困難な学生に対しての、経済的な支援体制の強化。

(今後の改善方針)

新しい特待生制度が、どのような効果を発揮するか期待。

(特記事項)

現在の学生は面と向かっての相談や電話での相談は嫌う傾向にある。メールやSNS等のほうが相談しやすいため、学生全員に配布してあるタブレット端末を通じてのやり取りが有効。これにより学生が教員や担任に相談や質問しやすい体制が構築できたので、学習成果も上がり、退学率の低減にもつながっている。

[6]教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

(課題)

施設設備やインターンシップ先の企業・海外との太いパイプ等、非常に良好なので、特に課題は見当たらない。

(今後の改善方針)

動物の専門学校が群馬県動物愛護センターへボランティアを派遣し、殺処分をなくしていこうとの取り組みは、全国的に聞いたことがないので、初めての取り組みとして模範を示してほしい。

(特記事項)

MGL学園は校内での実習授業が非常に充実しているので、しっかりと基礎技術が身に付いたうえでインターンシップを行っている。したがって、インターンシップが企業への学生の実力をアピールする場になっており、就職実績へとつながっているので大変評価できる。

[7]学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

(課題)

学納金は同分野校と比較すると良心的な価格で妥当であるため、特に課題はない。

(今後の改善方針)

昨年指摘した、保護者説明会の開催や就職内定者速報等の発行等をやっていただいたので、その成果を期待する。

(特記事項)

今年度も定員充足率が非常に高く、MGL学園の教育や就職・資格取得の実績が、多くの進学希望者に支持されていることが良くわかる。

[8]財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

(課題)

財務状況等がホームページできちんと情報公開されているので、特に課題はない。

(今後の改善方針)

監査法人の公認会計士による会計監査で正しく運営されていると評価されているので、今年度も引き続き正しい運営をしてほしい。

(特記事項)

模範的な健全経営だと評価する。

[9]法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

(課題)

学校関係者評価の活用をより強化。

(今後の改善方針)

自己評価のPDCAサイクルに学校関係者評価をリンクする。

(特記事項)

自己評価や学校関係者評価の課題や改善方針を参考に、順調に課題や指摘事項が改善されている。今後も良いPDCAサイクルを続けてほしい。

[10]社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

(課題)

学校の教育資源を活用して地域に対する公開講座等を実施し、社会貢献・地域貢献を積極的に行う。

(今後の改善方針)

地域のペット関係の企業に対して、技術研修会開催等での学校の施設設備の開放を続けてほしい。また、厚生労働省の認定を受け、専門実践職業訓練の講座を開講しているので、引続き訓練生を受け入れたい。

(特記事項)

地域のペット関係の企業に対しての技術研修会を開催したところ、非常に充実した施設設備を使用しての研修会で、参加者から好評を得た。

以上

高崎動物専門学校

平成 28 年度 学校関係者評価委員会

委員長 中井亜沙子 (高崎動物専門学校 校長)

委員 佐山 等 (一般社団法人 日本動物専門学校協会 理事長)

委員 福岡千尋 (わんちゃんのとこやさんカルア 代表)

委員 宮崎 藍 (高崎動物専門学校 卒業生)

委員 野口 哲 (高崎動物専門学校 評議員)

平成 28 年度

自己点検・評価報告書

学校法人 MGL 学園

高崎動物専門学校

自己点検・評価委員会

平成 29 年 6 月 30 日

1. 学校の教育理念・目標

基本精神

「共存共栄」

Mission(使命)

「業界に必要とされる人材を輩出し、動物業界の発展・繁栄に寄与する」

行動指針

「M」 マナー…礼儀正しさ

「G」 ガッツ…勇気・信念

「L」 リーダーシップ…思いやり・模範を示す

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 個人情報保護に対する取り組みの強化
2. 情報セキュリティ管理の徹底
3. 特色ある授業の積極的な展開
4. 教員等採用・育成計画
5. オープンキャンパス等、生徒募集強化策の実施
6. 安全管理の強化
7. 合同企業就職説明会開催による就職支援の強化
8. 動物愛護フェスティバルへのボランティアスタッフ派遣
9. 節電目標への取り組み
10. 職業実践大学制度への対応

3. 評価項目の達成及び取組状況

【評価の判定】 適切 4 ほぼ適切 3 やや不適切 2 不適切 1

[1]教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
・教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(課題)

2018年問題が間近に迫ってきており、安定的な教育環境の提供へのリスクとなっている。昨年度より本格的な対策に乗り出したので、継続していきたい。

(今後の改善方針)

学校広報の改善はもちろんのこと、選ばれる学校として、本校の強みをより強化していきたい。特にペット業界との強い連携や、海外との太い人脈を活かしたカリキュラムの編成を行っていきたい。

(特記事項)

2016年9月にビクター・ロサード氏をMGL学園に招聘して講演をしていただいた。ビクター氏は、グルーマーのアメリカ代表である「グルームチームUSA」のメンバーであり、世界大会でナンバーワンである「BIS」を何回も受賞した、世界を代表するグルーマーである。

また、2017年2月にアメリカロサンゼルスで行われたグルーミングの世界大会で、卒業生に神宮氏が優勝した。このような卒業生をどんどん輩出していきたい。

[2] 学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明文化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(課題)

評価項目については、毎年課題がクリアされ、ほぼ課題がない状況である。

(今後の改善方針)

問題がある場合は規則を随時更新し、業務が効率よく進められるようにする。

(特記事項)

平成 25 年度に学生や教職員一人一人にタブレット端末を配布したので、日常の連絡や緊急の連絡など、短時間で効率よく連絡を行うことができるようになった。

[3] 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4

・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

(課題)

職業実践専門課程の認定要件にはないが、専門学校の様態を示すべく、第三者評価を依頼した。

(今後の改善方針)

第三者評価を実施して、課題を挙げていただき、改善していきたい。

(特記事項)

教育課程編成委員会を毎年開催していることにより、関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携による、カリキュラムの作成・見直し等を行うことができた。

[4]学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

(課題)

校内での就職説明会をさらに充実させていきたい。

(今後の改善方針)

前回の校内での就職説明会の反省点を踏まえ、学生や企業にとってより良い就職説明会を開催する。

(特記事項)

就職に関しては、全国ペット協会と産学連携協定で大手企業への就職が強化されただけでなく、大手企業が学園内で一次面接を行うなど、有利な就職体制を組むことができた。

資格取得に関しては、今年も動物看護師統一資格で県内最大の合格実績を出すことができた。

[5]学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に相談する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4

・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(課題)

入学時納入金が払えずに入学辞退する学生が目立つようになってきた。

(今後の改善方針)

特待生制度を変更し、経済的な理由の入学辞退を減らせるような制度にする。

(特記事項)

卒業生対象の無料技術講習会を毎年開催し、好評を得ている。

[6]教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

(課題)

ほぼ課題はクリアされてきている。

(今後の改善方針)

インターンシップや海外研修等、本校ならではの広い人脈を活かしていきたい。

(特記事項)

本校は大学として使用されていた施設設備なので、専門学校として非常に充実している。

[7]学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

(課題)

2018年問題への対応。

(今後の改善方針)

本校の実績や特徴・強みなどを活かした教育課程の編成を企業や業界団体と連携して行う。

(特記事項)

今年度も定員充足率が非常に高く、本校の教育や就職・資格取得の実績が、多くの進学希望者に支持されていることが良くわかる。

[8]財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

(課題)

財務基盤は盤石で、特に課題は見当たらない。

(今後の改善方針)

今後も適正な運営を続けていく。

(特記事項)

監査法人の公認会計士による外部監査を行い、適正に運営されていると評価された。

[9]法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

(課題)

個人情報の管理にパソコンを使用するため、ウイルス対策をどんなにしても万全とは言い切れない。

(今後の改善方針)

最新の情報セキュリティ対策を施したシステムを導入した。

(特記事項)

連絡網を作成せず、生徒・教職員にタブレット端末を配布し、そこで連絡をするようにした。

[10]社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

(課題)

平成29年度は、群馬県動物愛護センターへボランティアを派遣し、殺処分ゼロへ向けた取り組みを行う。

(今後の改善方針)

地域のペット関係の企業に対しての技術研修会などを開催して、学校の施設設備を開放している。

(特記事項)

地域のペット関係の企業に対しての技術研修会を開催したところ、非常に充実した施設設備を使用しての研修会で、参加者から好評を得た。

以上

高崎動物専門学校

平成28年度 自己点検・評価委員会

委員長 中井亜沙子 (校長)

委員 野口 哲 (教務主任)

委員 上原 伸弘 (事務)